

栃木県教育委員会

1. 背景・目的

○高等学校段階における入院生徒への教育保障について、**生徒が在籍高等学校とのつながりを保ちながら学習を継続することができるよう**、在籍高等学校による指導を軸とした教育支援体制の構築を旨とし、以下の文科省事業を受託し、体制整備や充実を図ってきた。

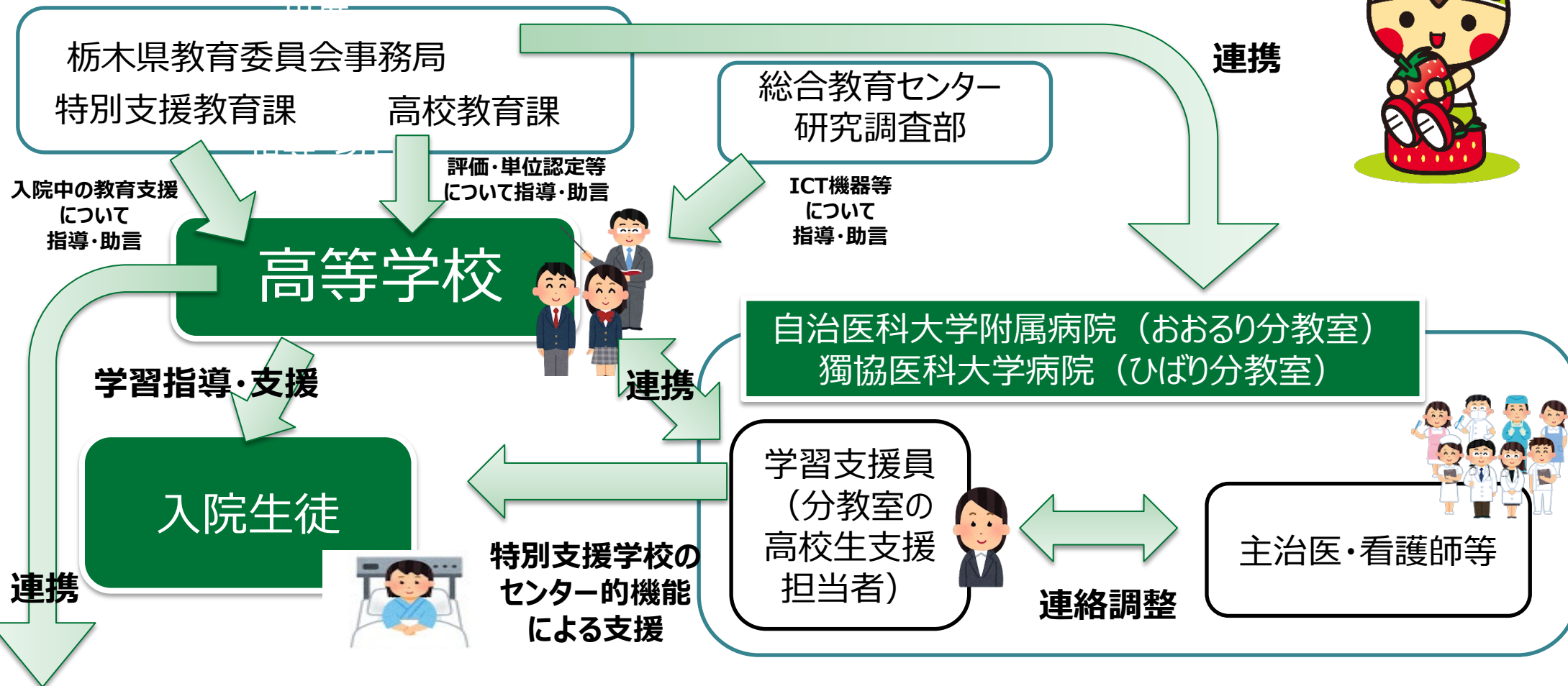
- ・平成30年度 「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」
- ・令和元・2年度 「高等学校段階における入院生徒への教育保障体制整備事業」
- ・令和3・4年度 「高等学校段階の病気療養中等の生徒に対するICTを活用した遠隔教育の調査研究事業」

学校と**つながり**を保ち、生徒の**安心感**を高める
指導・支援の充実を目指す



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告 栃木県教育委員会

2. 実施体制



がん診療連携拠点病院を含む
2つの大学病院以外の病院

※令和4年 県内のがん診療連携拠点病院へ事業説明の訪問を実施
栃木県立がんセンター、済生会宇都宮病院、那須赤十字病院
上都賀総合病院、佐野厚生病院、芳賀赤十字病院、足利赤十字病院
⇒学習支援の実施事例ができた病院あり

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業) 事業成果報告 栃木県教育委員会

2. 実施体制

- 普及啓発の取組等…5月 高等学校特別支援教育コーディネーター研修
県立学校養護教諭研修会
年間を通じて 県立学校長会、県立学校教頭事務連絡会、
教務主任連絡協議会 での事業説明
9月 健康増進課主催 がん対策連携協議会



3. 実施内容及び結果

生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	生徒E	生徒F	生徒G
高2（男子）	高2（女子）	高1（男子）	高2（女子）	高1（女子）	高1（女子）	高2（女子）
自治医科大学 附属病院 R6.2～R6.7	自治医科大学 附属病院 R6.3～R6.7	自治医科大学 附属病院 R6.4～R6.4	獨協医科大学 病院 R6.6～R6.10	埼玉県立 小児医療センター R6.9～	獨協医科大学病 院 R6.11～R6.11	自治医科大学 附属病院 R5.12～ R6.5
同時双方向型	同時双方向型	課題提供	同時双方向型	同時双方向型・ オンデマンド型	同時双方向型	課題提供
復学支援 会議	復学支援 会議	※入院2週間	※一時退院の 期間含む	在籍校＋ 他県特別支援学 校による学習支援	※入院1週間	※R6.4～ 休学、入院期 間は高校と分 教室が連携し サポート

3. 実施内容及び結果

○生徒Eの事例○

・在籍校＋他県特別支援学校の入院高校生支援事業による学習支援

⇒特別支援学校センター的機能による支援…テレプレゼンスロボットKubiの貸出し

⇒**オンデマンド型授業の実施**

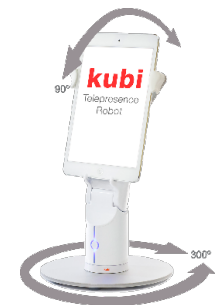
実施教科：保健体育・家庭科・数学・化学
授業を録画し、Teamsで生徒にデータ送付

⇒学習評価について

・他県特別支援学校による支援や在籍校からのオンデマンド型授業
の実施状況を踏まえ、校内委員会で評価方法等を検討（単位認定へ）

「**オンライン面談**をしたり、**行事**（体育祭）の時、オンラインでつないでもらった。
友達や先生とつながっている感覚があるので、**安心できる。**」

「治療で欠席が気になるので、**体調に合わせて好きな時間に視聴し勉強できる**
オンデマンド型授業はとても良い。」



4. 成果・課題

○令和6年度の取組の成果・効果

学習評価…入院期間の同時双方向型授業・オンデマンド型授業の実施状況を学習評価に反映。

オンデマンド型授業による単位認定について、引き続きの周知が必要

病院との連携…事業で連携している2大学病院との連携体制の確立

「入院中・病気療養中の生徒への支援」について高等学校に周知することで、
高等学校が県内外の病院と連携し学習支援を実施した事例も増えている。

(各高等学校が入院生徒に対して自走して支援できる体制の構築)

○令和6年度の事業を終えての課題

高等学校への周知…次年度の「特別支援教育に関する校内研修」において、

「入院・病気療養中の生徒への指導・支援について」をテーマに、

近年の好事例を紹介。全ての教員が病気療養中の生徒の

教育機会の確保について理解することで生徒への指導・支援を充実させる。

オンデマンド型授業実施に関する研究の継続…教員が取り組みやすい実施方法について

